

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

この東芝ジュースディスペンサーには、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。この東芝ジュースディスペンサーの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

東芝ジュースディスペンサーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店またはお近くの「東芝お客様ご相談センター」にご相談ください。なお、所在地は別添の一覧表をご参照ください。

修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	東芝ジュースディスペンサー	
形名		
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください	
お名前	電話番号	訪問希望日
便利メモ	お買い上げ店名	
	電話番号	
お買い上げ店名を記入されておくと便利です		

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

出張修理

東芝キャリア空調システムズ株式会社

冷機統括部 TEL 03-5781-7805
〒108-0075 東京都港区港南2丁目12番32号 (サウスポート品川9F)

お買い上げ日	年	月	日
お買い上げ店名			
TEL			

お客様へ……おぼえのため、お買い上げ日、お買い上げ店名を記入されると便利です。

総合レンタルショップ
なんでもある! ある!
R&Rレンタル
尾道サテライトショップ
TEL.0848-20-3270

TOSHIBA

エ&エの東芝
E&Eの東芝

東芝ジュースディスペンサー (業務用)

取扱説明書

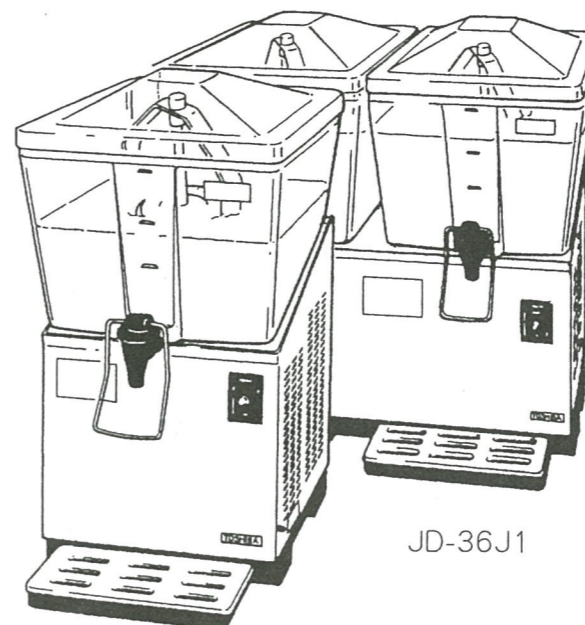
形名

JD-18J1

JD-36J1

もくじ

安全上のご注意……………	1~6
各部のなまえとその働き……………	7
付属品・注意ラベルの貼付位置……………	8
お使いになる前に……………	9~11
・据え付けについて	
・正しい組立ての仕方	
・運転前の確認	
運転の仕方……………	12~13
停止の仕方……………	14
お手入れと点検……………	15~18
・毎日のお手入れ	
・よごれが目立つときのお手入れ	
・1カ月に1回の点検	
・3カ月に1回のお手入れ	
・1年に1~2回の点検	
修理を依頼するまえに……………	19~20
移設・廃却・譲渡……………	21
仕様……………	22
保証とアフターサービス……………	裏表紙



JD-18J1

JD-36J1

- このたびは、東芝ジュースディスペンサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

お客様用

総合レンタルショップ
なんでもある! ある!
R&Rレンタル
尾道サテライトショップ
TEL.0848-20-3270

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告




誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は、「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

- 据付工事は専門業者に依頼すること
ご自分で据付工事され不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

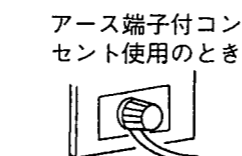


専門業者におまかせください

- アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
(電気工事業者による第三種接地工事が必要です。)



アース工事

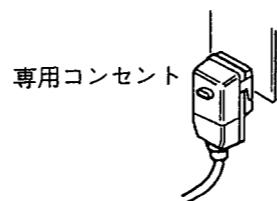


アース端子付コンセント使用のとき
アース線を確実につなぐ

- 電源は専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源



専用コンセント

警告

- 屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



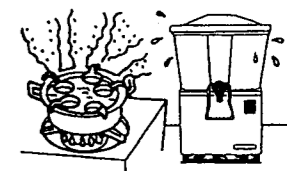
屋外禁止



- 湿気の多い場所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止



- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施行し、必ず専用回路を使用すること
電源回路不良、容量不足や施行不備があると、感電、火災の原因になることがあります。



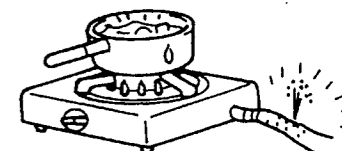
電気工事



- ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること
電源プラグを抜いたり、換気扇のスイッチを入れたりしますと引火爆発し、危険です。



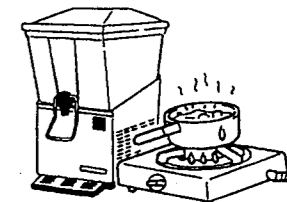
ガス栓閉



- 熱器具（ガスコンロなど）を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと
熱でプラスチックが溶けたり、火災の原因になります。



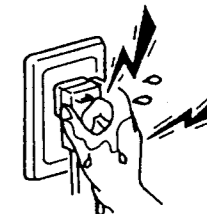
熱器具禁止



- 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になることがあります。



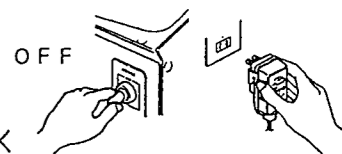
濡手禁止



- 異常時は電源スイッチを『OFF（切）』にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く



- 漏電保護プラグが作動して漏電表示ランプが点灯した場合には、最寄りの販売会社へ連絡すること
リセット（入）ボタンを押すと、感電や火災の原因になります。



連絡



安全上のご注意

警告

- 製品に直接水をかけないこと
ショート、感電、錆、故障の原因になります。



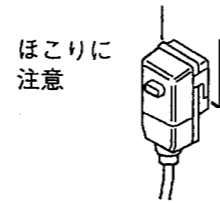
水掛け禁止



- 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



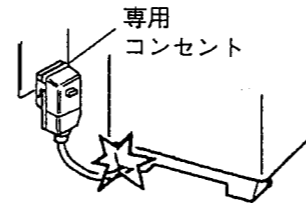
点検掃除



- 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重い物を乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



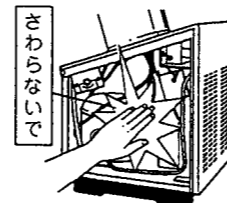
禁止



- 内部の電気装置や配線に触らないこと
感電する恐れがあります。



接触禁止



- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理は行わないこと
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。



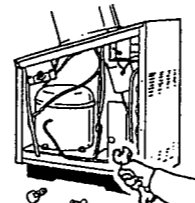
分解禁止



- 改造は絶対に行わないこと
改造工事をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。



改造禁止



- 移設時は専門業者か、最寄りの販売会社に相談すること
据え付け不備があると感電、火災等の原因になります。



専門業者



- 廃却は専門業者か、最寄りの販売会社に依頼すること
放置しますと幼児などがケガをする原因になります。



専門業者



注意

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平据付



- 本機の上に水を入れた容器を置かないこと
落下しケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。



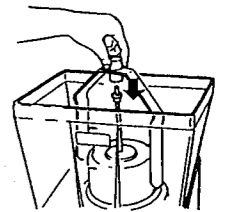
禁止



- ボウルに飲料（ジュース類）を入れるときは、必ずパドルを先に取り付けること
パドル軸の先端より液体が機械内部に入ると、漏電や感電の原因になります。



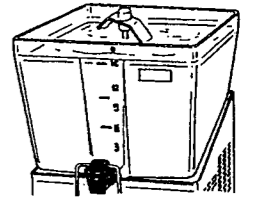
パドル取付



- ボウル前面の液面表示印「18」より上には飲料を入れないこと
運転中にあふれて周囲を汚す原因になります。



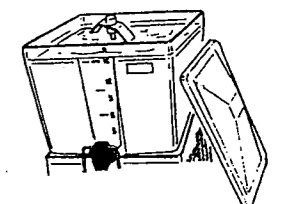
入れ過ぎ禁止



- ボウルカバーは開けたままにしないこと
雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



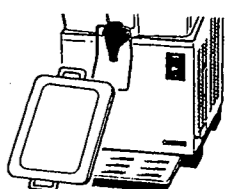
開放禁止



- フォーセットレバーに必要以外、手や物を触れさせないこと
フォーセットより飲料が出っぱなしになり、周囲を汚す原因になります。



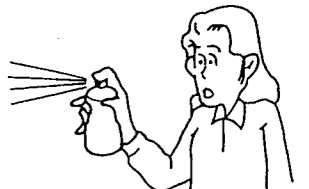
接触禁止



- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



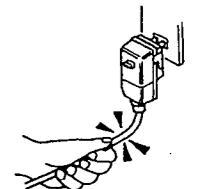
可燃物禁止



- 電源プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止



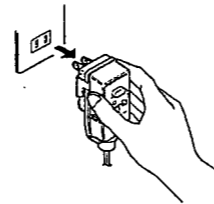
安全上のご注意

⚠ 注意

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを「OFF（切）」にし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。



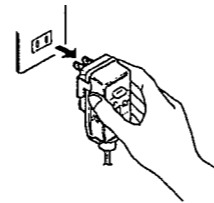
プラグを抜く



- 掃除する時や点検の時は、必ず電源スイッチを「OFF（切）」にして、電源プラグも抜くこと
感電したりケガの原因になることがあります。



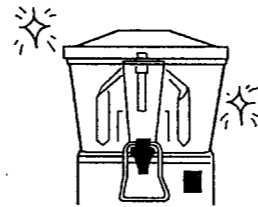
プラグを抜く



- フォーセット、ボウル、パドル、クーリングタワーなど飲料に接する部分は、毎日洗浄、掃除すること
洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



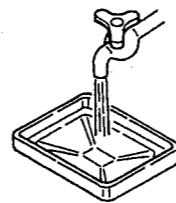
毎日洗浄



- 洗剤を使ったあとは、洗剤分を十分に洗い流すこと
飲料の味や香りを悪くし、健康障害の原因になることがあります。



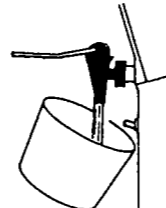
洗い流す



- 閉店後はボウルの内の飲料（ジュース類）を抜き取ること
抜き取った飲料は、清潔な容器に入れ冷蔵庫で保管してください。
運転を止めてそのままにしておいた飲料は雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



飲料抜き取り



- ドレンパンにたまった排水は、あふれるまえに捨てること
排水があふれると、カウンターや床を汚す原因になります。



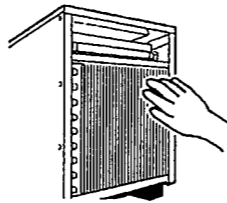
ドレンパン



- 凝縮器を掃除するときは、フィンに直接手を触れないこと
ケガの原因になることがあります。



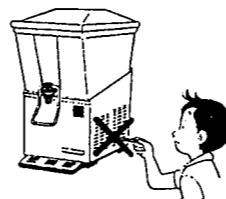
接触禁止



- 空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れないこと
内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になることがあります。



挿入禁止

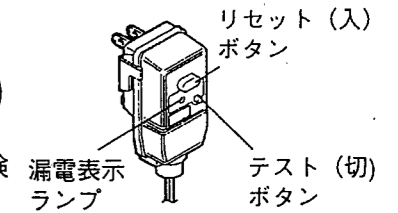


⚠ 注意

- 漏電保護プラグは月に1回動作確認をすること
漏電保護プラグを故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。



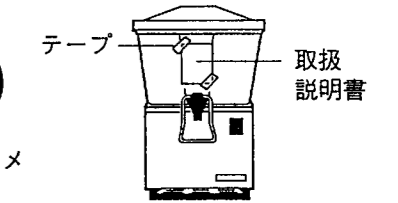
動作点検



- このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される時には、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めすること

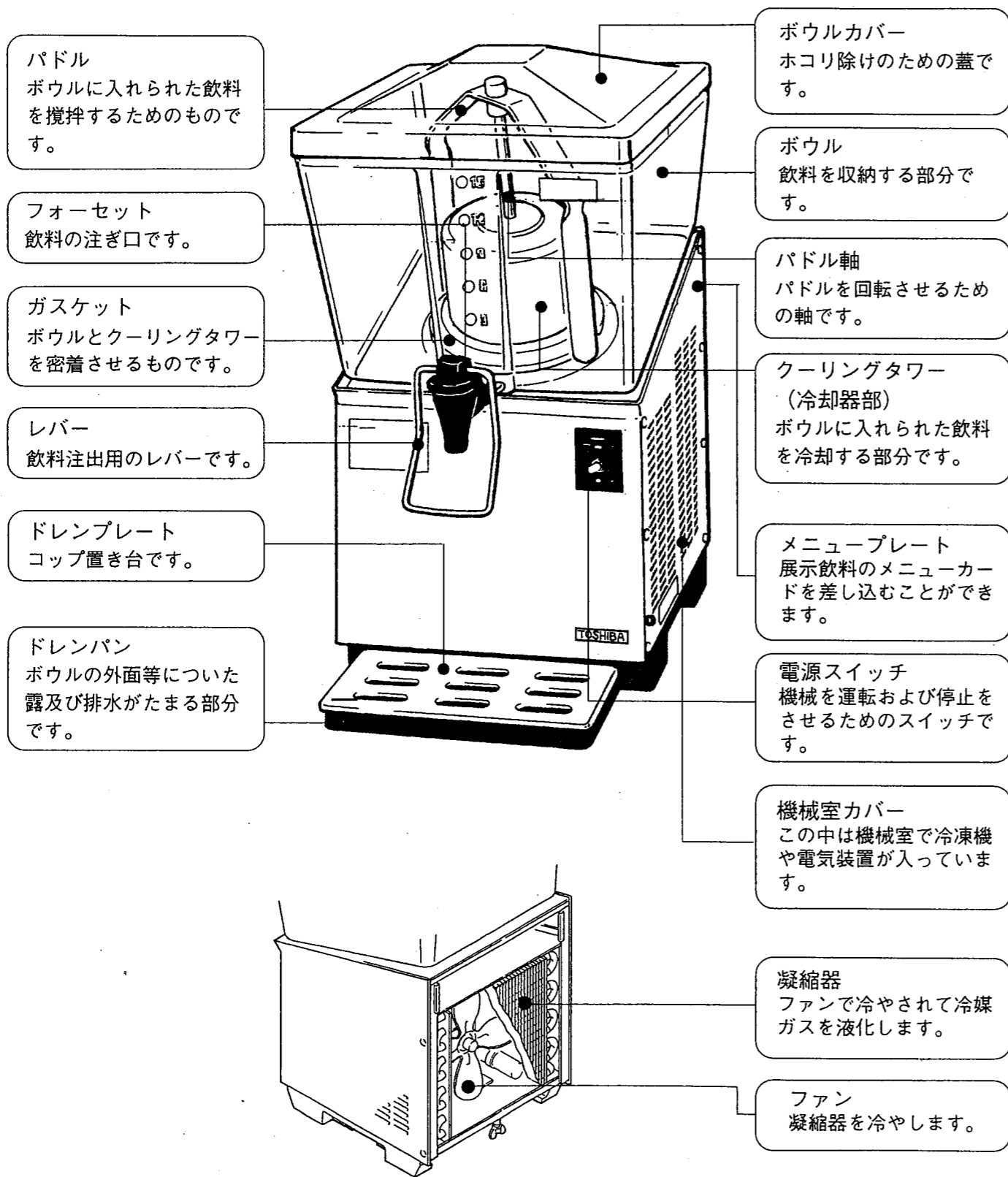


テープ止メ



各部のなまえとその働き

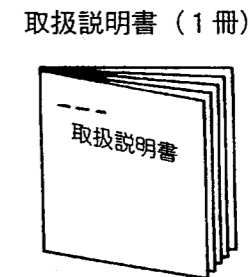
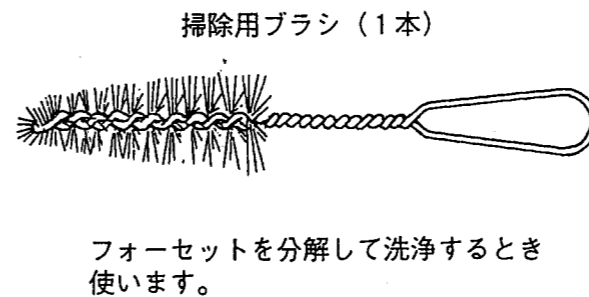
●本機は飲料（ジュース類）を冷却して展示、販売する機械です。



JD-18J1とJD-36J1は
共通な使い方のため、以下の取扱説明書は
JD-18J1の図で説明しています。

付属品・注意ラベルの貼付位置

付属品



注意ラベルの貼付位置

●特に重要と考えられる事項について、注意ラベルを貼り付けています。

安全上の注意ラベル

警告	
	●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に、取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
	●類焼の恐れあり 熱器具(ガスコンロなど)を周囲に置いたりしないこと。 熱でプラスチックが溶けたりして火災の原因になります。
	●腐敗の恐れあり ボウル内の飲料(ジュース)は毎日入れ替えのこと。 健康障害を起こす原因となります。

(本体前面板に貼ってあります)

感電注意ラベル

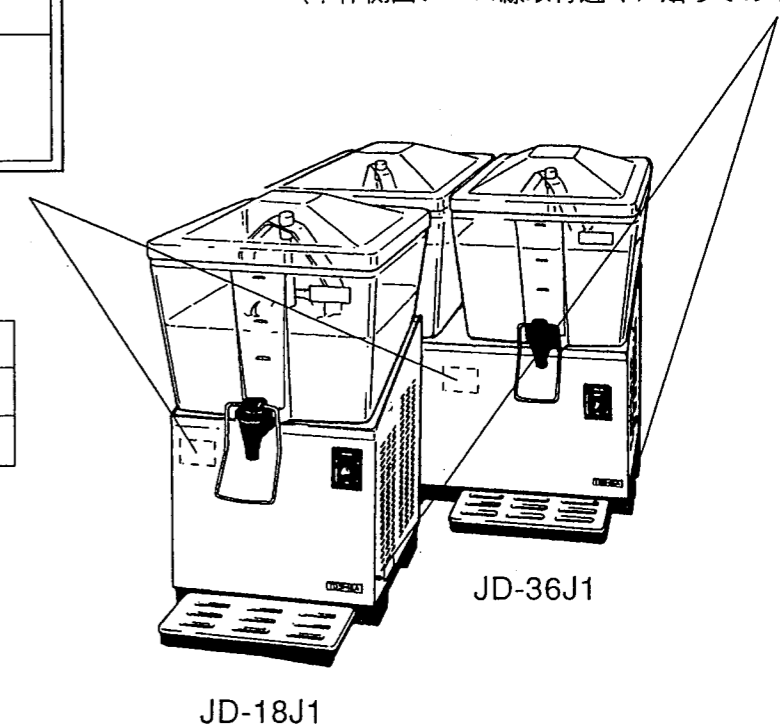
	警告 感電の恐れあり アース工事を行うこと
--	------------------------------------

(本体側面アース線取付近くに貼ってあります)

部品名	部品コード
安全上の注意ラベル	44701395
感電注意ラベル	44701396

お願い

●本体に貼り付けの注意ラベルが
はがれたり、文字が消えたりした
場合は、販売会社より購入し、
貼り替えてください。



お使いになる前に

据え付けについて

警告

- 据付工事は専門業者に依頼すること
ご自分で据付工事され不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

- アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
(電気工事業者による第三種接地工事が必要です。)



アース工事

- 電源は専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

- 屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用されると、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

- 湿気の多い場所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

警告

- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること
電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。



電気工事

注意

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平据付

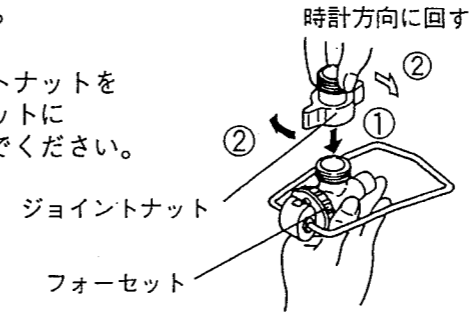
お願い

- 風通しの良いところに据え付けてください。ジュースディスペンサーのまわりは10センチメートル以上離しておいてください。風通しが悪いと飲料の冷えが悪くなり、故障の原因になることがあります。
- 凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください。周囲温度が0℃以下になるような場所には据え付けしないでください。飲料が凍結してボウルの破損の原因になります。
- 直射日光のあたるところに据え付けしないでください。ボウルなどが変形・色あせしたり、冷えが悪くなります。

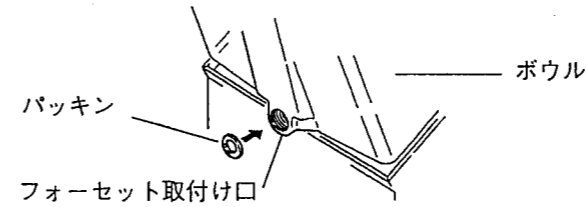
正しい組立ての仕方

1. ボウルにフォーセットを取り付けてください。

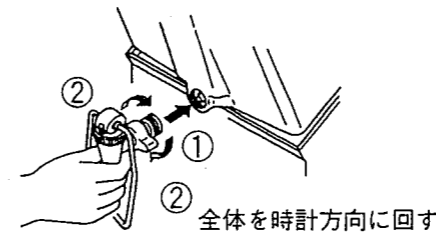
- 1) ジョイントナットをフォーセットにねじ込んでください。



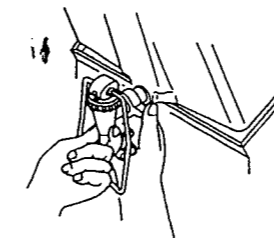
- 2) ボウルのフォーセット取付け口に、パッキンをはめ込んでください。



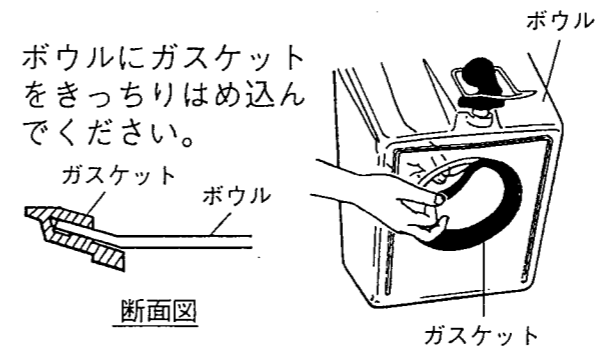
- 3) 1) で組立てたジョイントナット付フォーセットをボウルに取り付けてください。



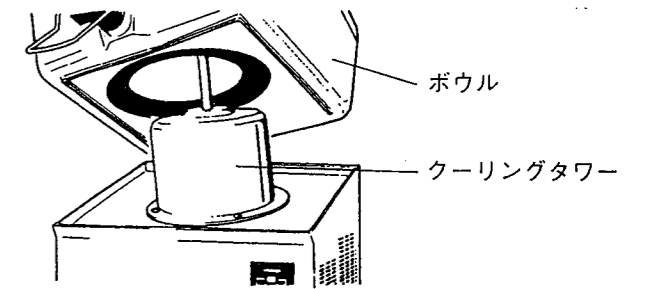
- 4) ジョイントナットを調節して、フォーセットが垂直になるように締め付けてください。



2. ボウルにガスケットをきっちりはめ込んでください。

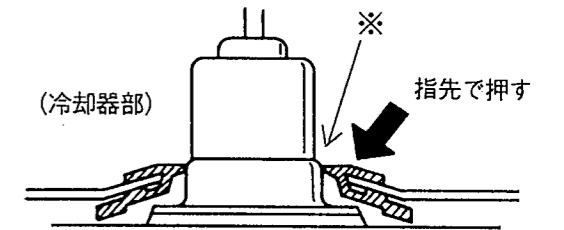


3. クーリングタワー（冷却器部）にボウルをはめ込んでください。

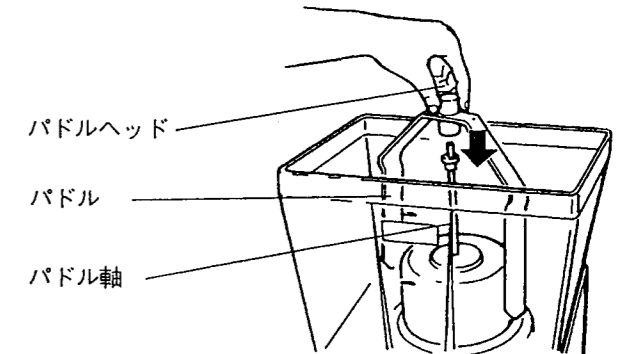


- ・入りにくい時は、ガスケットとクーリングタワーに水を付けると楽に入ります。挿入後、クーリングタワーとガスケットが密着しているか確かめください。

矢印の方向に円周に押し※印を密着させます。



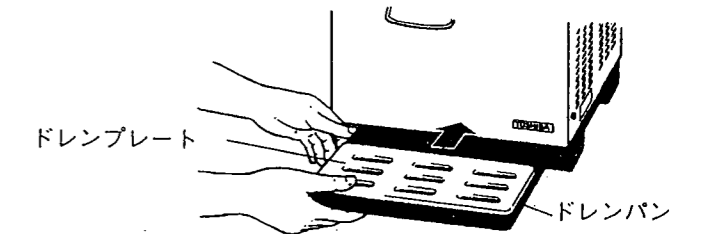
4. パドルをパドル軸にはめ込んでください。



パドル軸先端の形状（四角形）とパドルヘッド内側の形状（四角形）が合うように正しくはめ込んでください。

- ・はめ込み方が悪いと空回りします。

5. ドレンパンにドレンプレートを入れ、本体に差し込んでください。



お使いになる前に

運転前の確認

警告

- ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること
電源プラグを抜いたり、換気扇のスイッチを入れたりしますと引火爆発し、危険です。



ガス栓閉

注意

- 本機の上に水を入れた容器を置かないこと
落下しケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。



禁止

- 熱器具（ガスコンロなど）を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと
熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

- ボウルに飲料（ジュース類）を入れるときは、必ずパドルを先に取り付けること
パドル軸の先端より液体が機械内部に入ると、漏電や感電の原因になります。



パドル取付

- ボウル前面の液面表示印「18」より上には飲料を入れないこと
運転中にあふれて周囲を汚す原因になります。



入れ過ぎ禁止

注意

- ボウルカバーは開けたままにしないこと
雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります



開放禁止

- フォーセットレバーに必要以外、手や物を触れさせないこと
フォーセットより飲料が出っぱなしになり、周囲を汚す原因になります。



接触禁止

お願い

- 使用温度範囲は周囲温度 1~35℃、水温 5~30℃です。凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください。周囲温度が35℃を越える場合は、換気扇などで換気してください。
- ボウル内は清掃してありますが、念のために、ご使用前にもう一度清掃してください。詳細は「お手入れと点検」のページを御覧ください。
- ボウルには飲料（ジュース類）以外のものは入れないでください。ボウルやパドルの破損、機械の故障の原因になることがあります。
- 粘度の高い飲料や、粒入りジュースは使用しないでください。うまく攪拌されず、均一に冷えません。フォーセットが詰まったり、飲料がもれたりします。
- ボウルに30℃以上の熱い飲料（コーヒー、麦茶など）を入れしないでください。機械が故障しますので、冷ましてから入れてください。

運転の仕方

警告

- 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になることがあります。



濡手禁止

- 異常時は電源スイッチを『OFF（切）』にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

- 漏電保護プラグが作動して漏電表示ランプが点灯した場合には、最寄りの販売会社へ連絡すること
リセット（入）ボタンを押すと、感電や火災の原因になります。



連絡

注意

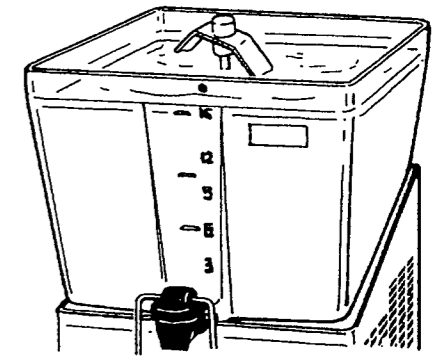
- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



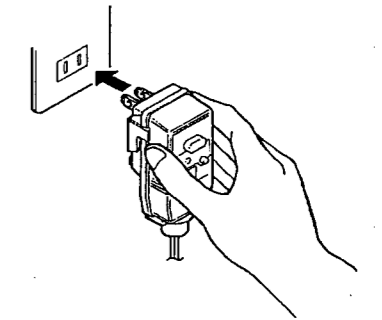
可燃物禁止

手順

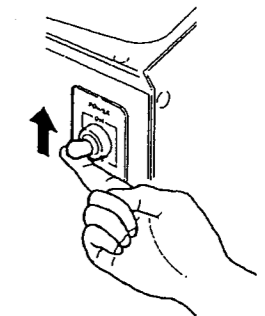
- 1) ボウルに飲料を入れ、ボウルカバーをしてください。
必ずパドルをパドル軸に取り付けてから入れてください。
有効内容積は18リットルですので、それ以上は入れないでください。



- 2) 電源プラグを専用コンセントに確実に差し込んでください。



- 3) 電源スイッチのレバーを『ON（入）』にしてください。
運転を開始します。
JD-36J1 は2つの電源スイッチがついていますので、順番に入れてください。

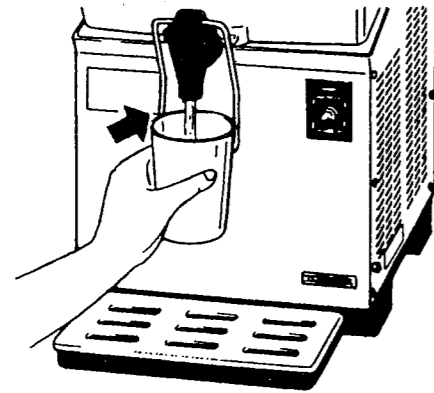


初品温25℃、10リットルの飲料は約90分で6~8℃になります。
(外気温度30℃、60Hz時)

運転の仕方

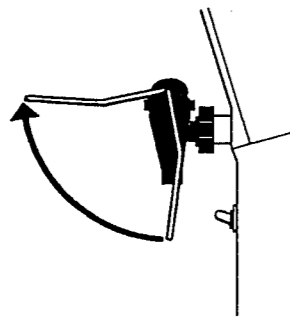
飲料の注ぎかた

- コップをレバーに押しつけてください。
飲料がフォーセットより出てきます。



飲料の抜き取りかた

- 毎日のお手入れの前など、ボウル内の飲料を抜き取る時は、レバーを下図のように手前方向に上げ、水平の位置にしてください。
連続で飲料が取り出せます。



停止の仕方

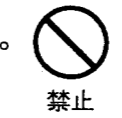
警告

- 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になることがあります。



注意

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



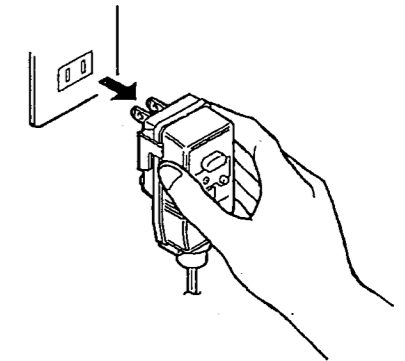
お願い

- 運転を停止して、再び開始するときには、必ず3分以上時間をおいてください。すぐに再運転させますと、故障の原因になります。

↓

手順






- 1) 電源スイッチを『OFF (切)』にしてください。
運転が止まります。
- 2) 電源プラグをコンセントより抜いてください。



- 3) ボウル内の飲料をすべて抜き取ってください。
 - ・抜き取った飲料は清潔な容器に入れ冷蔵庫で保管してください。
- 4) ボウル、パドル、フォーセット、クーリングタワーなど飲料に接する部分を洗浄・掃除してください。
(「毎日のお手入れ」参照)
 - ・洗浄後は各部品を十分乾燥させてください。
- 5) 各部品を元通り組み立ててください。

お手入れと点検







警告

- 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になることがあります。
- 製品に直接水をかけないこと
ショート、感電、錆、故障の原因になります。
- 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重い物を乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。
- 内部の電気装置や配線に触れないこと
感電する恐れがあります。
- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理は行わないこと
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。

お願い

- 掃除をするとき、クレンザー、酢酸、ベンジン、ガンソリン、シンナー、熱湯などは使わないでください。キズがついたり、破損の原因になります。
- プラスチック部品に殺虫剤をかけたり、油気のあるものを触れさせないでください。変形したり、割れたりすることがあります。

注意

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを『OFF (切)』にし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。
- 掃除する時や点検の時は、必ず電源スイッチを『OFF (切)』にして、電源プラグも抜くこと
感電したりケガの原因になることがあります。
- フォーセット、ボウル、パドル、クーリングタワーなど飲料に接する部分は、毎日洗浄、掃除すること
洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。
- 洗剤を使ったあとは、洗剤分を十分に洗い流すこと
飲料の味や香りを悪くし、健康障害の原因になることがあります。
- 閉店後はボウル内の飲料(ジュース類)を抜き取ること
抜き取った飲料は清潔な容器に入れ冷蔵庫で保管してください。運転を止めてそのままにしておいた飲料は雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。
- ドレンパンにたまった排水は、あふれるまえに捨てること
排水があふれると、カウンターや床を汚す原因になります。

毎日のお手入れ

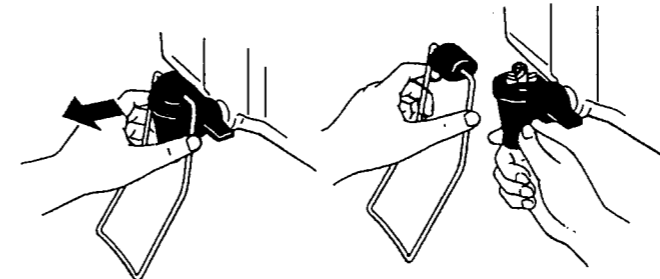
1. ボウルとパドルの洗浄

- 飲料をすべて抜き取ってください。
- ボウルカバー、パドル、ボウルを本体より取り外してください。
- 取り外した部品を食器用洗剤を使って洗い、洗剤分が残らないよう十分すすいでください。

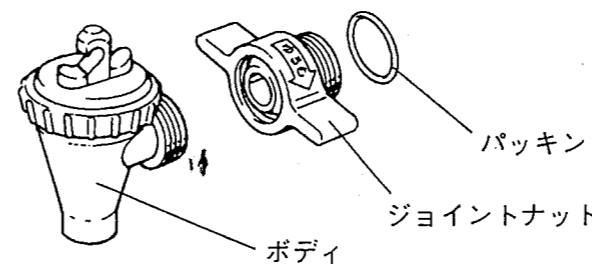
2. フォーセットの洗浄

- フォーセットの分解のしかた

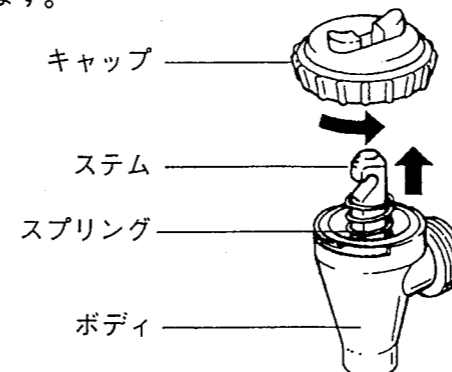
- まず、レバーを矢印の方向に水平に引き抜いてください。



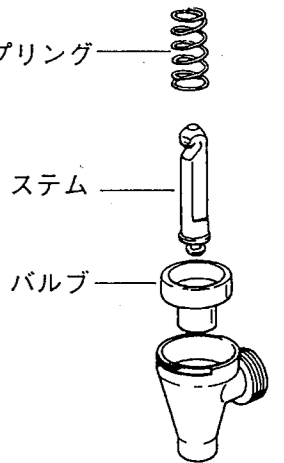
- ジョイントナットをゆるめてボディをはずしてください。



- キャップを矢印左1/4回転させるとキャップが取れます。



- スプリングをはずし、ステムを引き抜いてください。
バルブはステムを引き抜くとすぐはずれます。



- フォーセットの各部分はこの要領で外し付属の掃除用ブラシを使ってきれいに洗浄してください。
- 洗浄後は十分乾燥させ、分解の手順を逆にやってフォーセットを取り付けてください。

お願い

- 組立てが悪いと液漏れの原因になります。

3. クーリングタワーの掃除

- クーリングタワーは食器用洗剤を含ませた布でふいてください。
- 汚れをふき取った後は、水を含ませた布できれいにふいて洗剤分を十分にふき取ってください。

4. ドレンパン、ドレンプレートの洗浄

- ドレンパンにたまった排水を捨ててください。
- ドレンパン、ドレンプレートを食器用洗剤を使って洗ってください。
- 洗剤分が残らないよう十分すすいでください。

お手入れと点検

よごれが目立つときのお手入れ

外装

警告

- 製品に直接水をかけないこと
ショート、感電、錆、故障の原因になります。



- 1) 本体外装はステンレスですが、お手入れしめんと錆びる場合があります。柔らかい布でふいてください。
- 2) 中性洗剤を入れたぬるま湯でふいたあと、洗剤分が残らないよう水でふきとってください。

1カ月に1回の点検

漏電保護プラグ動作確認

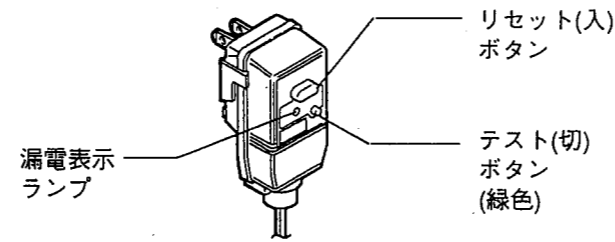
注意

- 漏電保護プラグは月に1回動作確認をすること
漏電保護プラグを故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。



- 1) 漏電保護プラグのテスト(切)ボタン(緑色)を指先で押してください。
- 2) 漏電表示ランプが点灯します。ランプが点灯すれば正常です。

- 3) 3分間待ってからリセット(入)ボタンを押してください。



お願い

- 漏電表示ランプが点灯しない場合は、そのまま、すぐに最寄りの販売会社へご連絡ください。

3カ月に1回のお手入れ

凝縮機

注意

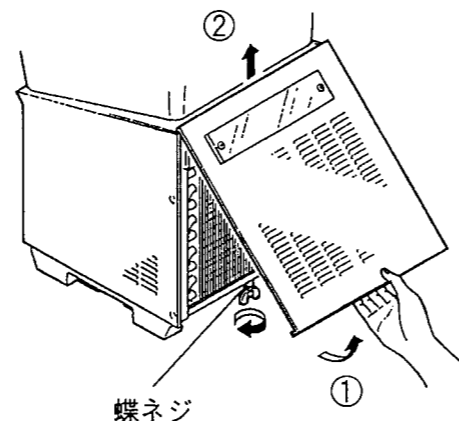
- 凝縮器を掃除するときは、フィンに直接手を触れないこと
ケガの原因になることがあります。



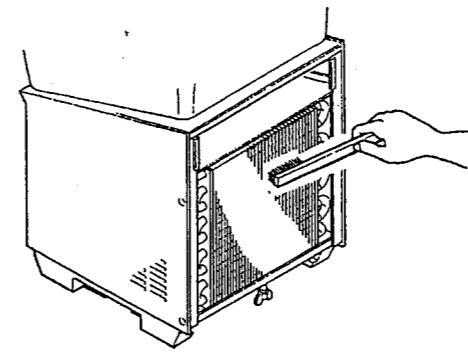
- 空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れないこと
内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になることがあります。



- 1) 後面板下部の蝶ネジ(JD-36J1は2カ所)をゆるめて手前に引き、後面板を上方に持ち上げてとりはずしてください。



- 2) ブラシを使用して、図のようにブラッシングし、ゴミやほこりをきれいに取り除いてください。



- 3) ブラッシングが終了しましたら、後面板を元通り正しく取り付けてください。

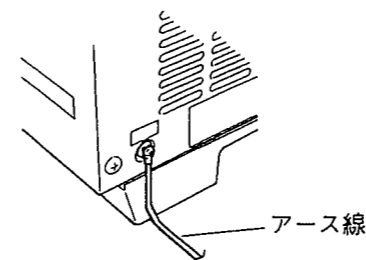
お願い

- (1) 凝縮器にゴミやほこりが付きますと、正常な運転ができなくなり、故障の原因になります。
- (2) 後面板をはずしたまま運転しないでください。故障の原因になります。

1年に1~2回の点検

1. アース線の点検

アース線は切れたり接続部が緩んでいませんか？
異常の場合は電気工事業者に修理を依頼してください。



2. 電源プラグの点検

注意

- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



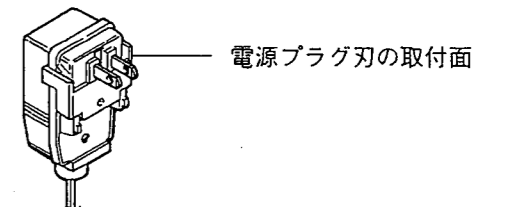
- 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



- 電源は専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



- (1) 電源プラグが、専用のコンセントに入っていますか？
他の機器と共用している場合は専用コンセントにしてください。
- (2) 電源プラグやコードに異常な発熱や破損、重い物が乗ったり、挟み込まれたりしていませんか？
異常の場合は、すぐに最寄りの販売会社へ修理を依頼してください。
- (3) 電源プラグの刃と刃の取付面およびコンセントにほこりがついていませんか？
掃除をしてください。



修理を依頼するまえに

⚠警告

●異常時は電源スイッチを『OFF(切)』にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因となります。



プラグを抜く

●修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理は行わないこと
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。



分解禁止

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になることがあります。



濡手禁止

⚠注意

●凝縮器を掃除するときはフィンに直接手を触れないこと
ケガの原因になることがあります。



接触禁止

お願い

- 「故障かな?」と思ったら、まず次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、すぐに最寄りの販売会社へご連絡ください。
- 販売会社へ連絡するときは、形名、製造番号、据付年月日(保証書に記載しております)と、故障状況をお知らせください。

1. まったく冷えないとき

- (1) 停電ではありませんか?
通電するのを待ってください。
- (2) 電源プラグが抜け落ちていませんか?
抜けているときは、コンセントに差ししてください。
- (3) 電圧が低くなっていませんか?
電圧が低い場合は、最寄りの販売会社へ連絡してください。
- (4) 漏電保護プラグ(電源プラグ兼用)が切れていませんか?
漏電表示ランプが点灯している場合は、最寄りの販売会社へすぐに連絡してください。

2. よく冷えないとき

- (1) 周囲温度が35℃以上になっていませんか?
換気扇などで換気して周囲温度を下げてください。
- (2) 外部から熱気の影響を受けていませんか?
熱源を遠ざけてください。
- (3) ジュースディスペンサーの周囲に物を置いて風通しを悪くしていませんか?
物を取り除いてください。
- (4) 凝縮器にゴミがつかっていませんか?
凝縮器を掃除してください。
- (5) 熱い飲料が入っていませんか?
冷ましてから入れてください。
- (6) 日光の直射を受けていませんか?
直射日光のあたらない場所に移設してください。
- (7) 運転中に電源スイッチを『OFF』『ON』しませんでしたか?
しばらく様子を見てください。

3. 異常音がするとき

- (1) 運転中は機械の運転音の他にコンプレッサーの起動、停止時に動作音がします。
これは異常ではありません。
- (2) 床がしっかりしていますか?
弱い場合は最寄りの販売会社へご連絡ください。
- (3) 据え付けが悪く、がたついていませんか?
水平で平らな所に据え付けてください。
- (4) ジュースディスペンサーに何か触れていませんか?
接触している物を取り除いてください。

4. ボウルのはめ込み部から飲料が漏れたとき

- (1) ガasketのはめ込みが悪くありませんか?
ガasketをボウルにきっちりはめ込んでください。
- (2) ボウルのはめ込みが悪くありませんか?
ボウルをクーリングタワーに正しくはめ込んでください。
- (3) ガasketが損傷していませんか?
損傷していれば交換してください。

5. フォーセット部から飲料が漏れたとき

- (1) フォーセットパッキンを付け忘れていませんか?
ボウルのフォーセット取付口にフォーセットパッキンを取り付けてください。
- (2) フォーセットの組立てかたが悪くありませんか?
正しく組み立ててください。
- (3) フォーセットバルブに異物がつまっていますか?
異物を取り除いてください。
- (4) フォーセットバルブが損傷していませんか?
損傷していれば交換してください。
- (5) 粒入りジュースを使用していませんか?
粒入りジュースは使用できません。

6. パドルが回らないとき

- (1) 電源スイッチを入れ忘れていませんか?
電源スイッチを『ON(入)』にしてください。
- (2) パドルとパドル軸のはめ込み方が悪くありませんか?
正しくはめ込んでください。

7. 漏電保護プラグ(電源プラグ兼用)が作動していませんか

- (1) 漏電保護プラグ(電源プラグ兼用)の漏電表示ランプが点灯していないか確認してください。
- (2) 運転中、勝手に漏電表示ランプが点灯したときは、漏電している可能性があります。

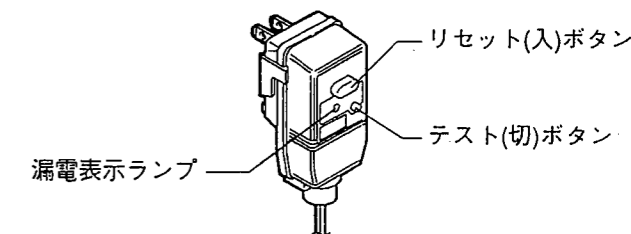
⚠警告

●漏電保護プラグが作動して漏電表示ランプが点灯した場合には、最寄りの販売会社に連絡すること
リセット(入)ボタンを押すと感電、火災の原因になります。



連絡

漏電保護プラグ(電源プラグ兼用)



8. これは故障ではありません

飲料が少なくなりますと、クーリングタワーが露出して、霜がついたり、凍りついたりすることがあります。この時は飲料をつぎ足してください。

移設・廃却・譲渡

移設

⚠警告

- 移設は専門業者か、最寄りの販売会社に相談すること
据え付けに不備があると感電、火災等の原因になります。



専門業者

廃却

⚠警告

- 廃却は専門業者か、最寄りの販売会社に相談すること
放置しますと幼児などがケガをする原因になります。



専門業者

譲渡

⚠注意

- このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される時には、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

仕様

	JD-18J1	JD-36J1
電源	単相100V 50/60Hz	単相100V 50/60Hz
消費電力	220W	440W
電流	3.9/3.2A	7.8/6.4A
容量	18L	18L×2
安全装置	漏電保護プラグ（電源プラグ兼用）1個	漏電保護プラグ（電源プラグ兼用）1個
外形寸法	巾323 X 奥行435 X 高さ575(mm)	巾648 X 奥行435 X 高さ575(mm)
製品重量	18kg	36kg
付属部品	掃除用ブラシ1本	掃除用ブラシ1本